

社会資本総合整備計画書

(防災・安全交付金)

(陸前高田市)

令和7年4月1日

社会資本総合整備計画													防災・安全交付金			令和06年12月04日		
計画の名称	陸前高田市における循環のみちの実現（防災・安全）																	
計画の期間	令和05年度 ～ 令和09年度（5年間）												重点配分対象の該当					
交付対象	陸前高田市																	
計画の目標	公共下水道高田処理区の処理場及び管渠のストックマネジメント計画を策定し、施設の計画的な維持管理を行う。																	
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）		947	A	947	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A+B+C+D）			0	%		

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		(R5当初)	(R7末)	(R9末)
1	高田処理区の処理場の耐震診断調査達成率を0%（R5当初）から100%（R5末）に増加させる。			
	高田処理区の処理場の耐震診断調査達成率	0%	100%	100%
	耐震診断調査が完了済の処理場数（箇所）／耐震診断調査が必要な処理場数（箇所）			
2	高田処理区の処理場のストックマネジメント計画策定率を0%（R8当初）から100%（R9末）に増加させる。			
	高田処理区の処理場のストックマネジメント計画策定率	0%	0%	100%
	高田処理区のストックマネジメント計画策定済の処理場数（箇所）／高田処理区の処理場数（箇所）			
3	高田処理区の処理場の耐震診断結果に基づく、耐震補強が必要な箇所の設計及び工事達成率を0%（R6当初）から100%（R9末）に増加させる。			
	高田処理区の処理場の耐震補強達成率	0%	50%	100%
	耐震補強が完了済の処理場数（箇所）／耐震補強が必要な処理場数（箇所）			
4	高田処理区の老朽化した管渠の機能確保率を0%（R7当初）から100%（R9末）に増加させる。			
	高田処理区の老朽化した管渠の機能確保率	0%	0%	100%
	更新済み管渠延長（km）／老朽化した管渠総延長			

備考等	個別施設計画を含む	☐	国土強靱化を含む	☐	定住自立圏を含む	☐	連携中枢都市圏を含む	☐	流域水循環計画を含む	☐	地域再生計画を含む	☐

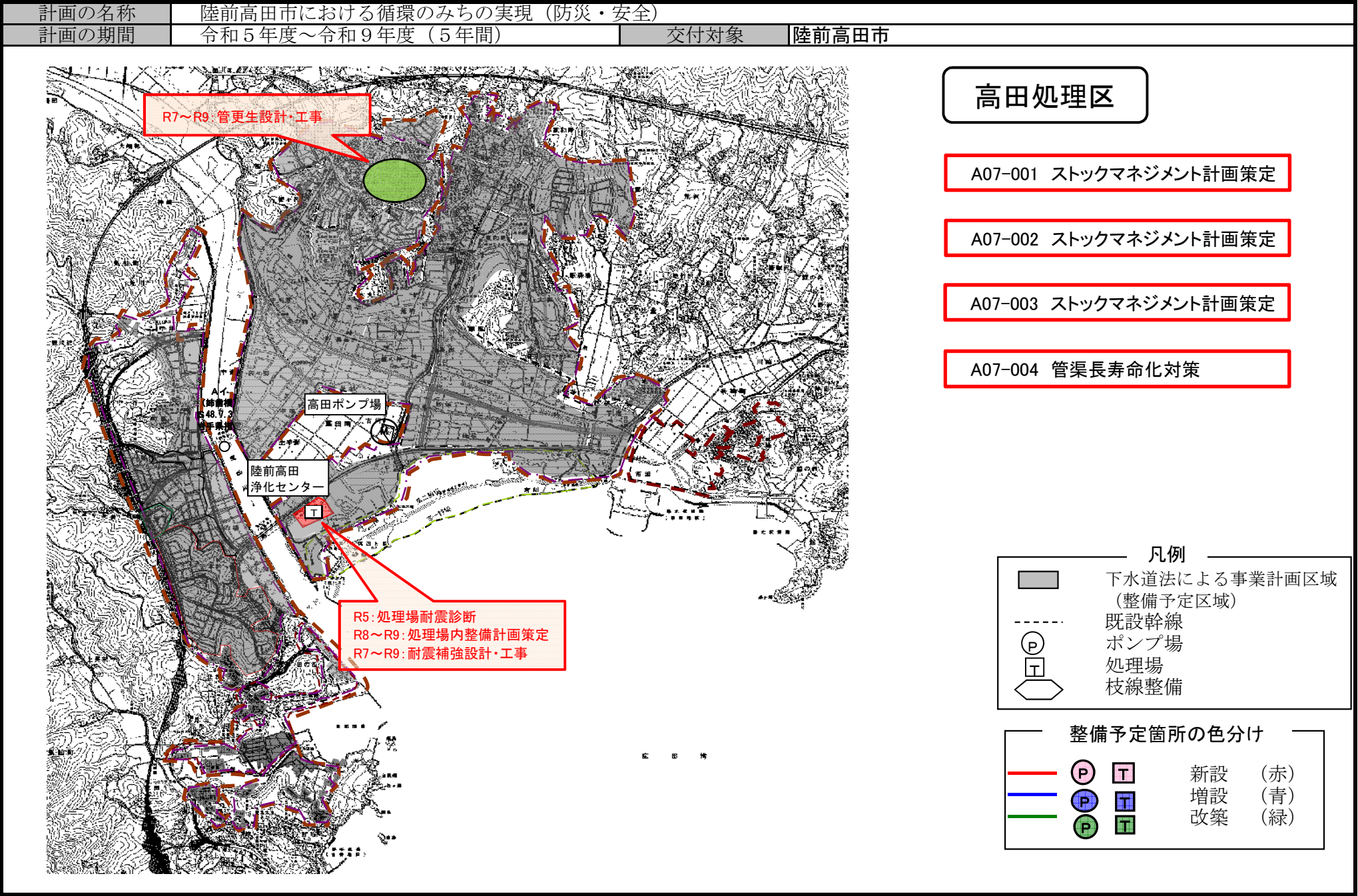
A 基幹事業																				
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
水道・下水道事業	A07-001	下水道	一般	陸前高田 市	直接	陸前高田市	終末処 理場	改築	ストックマネジメント計 画	処理場の耐震診断調査	陸前高田市	■					80		策定済	
	A07-002	下水道	一般	陸前高田 市	直接	陸前高田市	終末処 理場	改築	ストックマネジメント計 画	処理場内設備の計画策定	陸前高田市					■	■	40		策定済
	A07-003	下水道	一般	陸前高田 市	直接	陸前高田市	終末処 理場	改築	ストックマネジメント計 画	処理場の耐震補強設計及び工 事	陸前高田市		■	■	■	■	694		策定中	
	A07-004	下水道	一般	陸前高田 市	直接	陸前高田市	管渠（ 污水）	改築	管渠長寿命化対策	管渠L=2,000m	陸前高田市				■	■	■	133		策定中
											小計							947		
										合計							947			

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	R05	R06			
配分額 (a)	40	31			
計画別流用増△減額 (b)	△5	△5			
交付額 (c=a+b)	35	26			
前年度からの繰越額 (d)	0	35			
支払済額 (e)	0	28			
翌年度繰越額 (f)	35	26			
うち未契約繰越額(g)	0	0			
不用額 (h = c+d-e-f)	0	7			
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	0	11.47			
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由		処理場耐震診断において実施内容の精査によるため			

(参考様式3) (参考図面)



事前評価チェックシート

計画の名称： 陸前高田市における循環のみちの実現（防災・安全）

事前評価	チェック欄
I. 目標の妥当性	
①上位計画との適合等 1) 都道府県構想（見直し予定を含む）に適合している。	○
I. 目標の妥当性	
①上位計画との適合等 2) 流域下水道事業と整合性が確保されている。（流域関連公共下水道のみ）	
I. 目標の妥当性	
①上位計画との適合等 3) 市町村独自の下水道計画と整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性	
②目標値及び内容の妥当性 1) 計画人口は適正な数値となっている。（人口普及率等を目標値とした場合）	
I. 目標の妥当性	
②目標値及び内容の妥当性 2) 緊急性の高い課題に取り組む内容となっている。（施設の長寿命化対策、地震対策）	○
II. 計画の効果・効率性	
③目標と事業内容の整合性等 1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性	
③目標と事業内容の整合性等 2) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性	
③目標と事業内容の整合性等 3) 目標及び事業内容と計画区域との整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性	
③目標と事業内容の整合性等 4) 指標・数値目標が住民にとって分かりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性	
③目標と事業内容の整合性等 5) 下水道整備が、他の汚水処理施設の設置より優位になっている。	
II. 計画の効果・効率性	
④事業の効果 1) 十分な事業効果が得られる事業で構成されている。	○
II. 計画の効果・効率性	
④事業の効果 2) 河川等の水質改善に効果がある。	
II. 計画の効果・効率性	
④事業の効果 3) 地震、降雨等により生じる災害を防止する施設を設置する計画となっている。	○
III. 計画の実現可能性	
⑤計画の具体性 1) 市町村独自の中期計画に基づいた計画となっている。	○
III. 計画の実現可能性	
⑤計画の具体性 2) 都道府県構想により定められた目標と整合する計画となっている。	○

[illegible]